

科目名	子ども家庭支援の心理学				担当	大塚 美奈子		
形態	講義	単位数	2	開講時期	2年後期	実務経験	教員として特別支援学校に勤務経験有	
必修	保育士：必修				ナンバリング	Y2102	DPとの関連	2
授業概要	本授業では、乳幼児期から老年期までの人の発達過程を知ることを通して、生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を学ぶ。また、現代社会における家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について学び、子どもの心身の健康と保健について理解し、子どもの生活環境、子どもの精神疾患や障害、大災害時の子どもの精神的健康などについても学ぶ。							
到達目標 学習成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 生涯発達における発達課題や乳幼児期の親子関係の重要性について理解する 2 家族・家庭の意義や機能を理解する 3 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解し、子どもとその家庭を支える包括的な視点を持つことができる 4 子どもの心の健康に関わる問題について理解する 							
授業計画	回	内容						
	1	生涯発達とライフサイクル	本授業の概要・生涯発達 ・エリクソンのライフサイクル論					
	2	乳幼児期の発達	・アタッチメント理論 ・乳幼児期の課題					
	3	学童期前期の発達	・ピアジェの認知発達論 ・就学 ・心理社会的問題と病理					
	4	学童期後期～ 思春期の発達	・仲間関係・心理社会的問題 ・思春期の認知発達 ・仲間関係・家族関係 ・心理社会的問題					
	5	青年期～ 成人期初期の発達	・心理社会的問題 ・職業 ・結婚・出産 ・子育て					
	6	成人期と中年期の発達	・アイデンティティの再構築 ・家族の発達					
	7	老年期	・サクセスフル・エイジング					
	8	家族・家庭の理解①	・家庭の意義と機能 ・ライフコース ・ワーク・ライフ・バランス					
	9	家族・家庭の理解②	・親子関係 ・家族関係の発達 ・親としての育ち					
	10	子育ての現状と課題①	・虐待の疑いがある家庭 ・貧困家庭 ・外国籍の家庭					
	11	子育ての現状と課題②	・ひとり親家庭 ・親が精神障害や疾病を抱える家庭					
	12	小児の精神保健①	・健康と保健の定義 ・子どもの生活環境 ・ネット依存					
	13	小児の精神保健②	・愛着障害 ・分離不安 ・心身症 ・災害における PTSD					
	14	小児の精神保健③	・不登校 ・夜尿 ・脱毛 ・拒食・過食 ・強迫性障害					
15	障害のある子どもの理解	・知的障害 ・発達障害 ・病弱						
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1 生涯発達における発達課題や乳幼児期の親子関係の重要性について理解できたか 2 家族・家庭の意義や機能を理解できたか 3 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解し、子どもとその家庭を支える包括的な視点を持つことができたか 4 子どもの心の健康に関わる問題について理解できたか 							
評価方法	授業態度 40% 期末試験 60%							
フィードバック 方法	授業内に行った演習課題については、演習シートを通じその都度評価し返却する							
アクティブ ラーニング	ディスカッション、グループワーク							
教科書	「子ども家庭支援の心理学」(原信夫・井上美鈴編著 北樹出版)							
参考書	必要に応じて授業内で紹介する							
履修条件	現代社会の子どもや家庭が抱える多様な課題に対して関心を持ち、保育者・教育者としてのどのような支援ができるのかを考える姿勢を持って受講することを求める							
授業外学習	事前学習：各授業の終わりに示す教科書の範囲または配布プリントについて読んでおくこと 事後学習：授業プリントについて復習し、重要語句についてまとめておくこと							
オフィスアワー	第 12 番研究室 mail:office365 outlook							